

# 解説

## どうして課金したくなるの？

必要以上に課金を行ってしまう場合、次のような行動や思考・心理が影響していることがあります。詳しくは以降のページを見てみましょう。

- ① イベントをクリアしたい・強くなりたい
- ② 周りも課金しているから
- ③ 承認欲求を満たしたい
- ④ 課金が少額だと、手軽に始めやすい
- ⑤ ゲームサイト自体が課金したくなる仕組みを作っている
- ⑥ 自覚がない場合も

どうして課金したくなるの？

## ① イベントをクリアしたい・強くなりたい

事例でも、ショウタは「最強の武器」が欲しくて課金アイテムに手を出してしまいました。

「もっと強い武器が欲しい」「早くクリアしたい」という気持ちから課金を繰り返してしまう可能性があります。



## ② 周りも課金しているから

ゲーム仲間や友人の影響で「課金することが当たり前」と思い、課金のハードルを下げたままになってしまう可能性があります。また、課金アイテムを手に入れることで周りに自慢できる、という側面もあります。

どうして課金したくなるの？

### ③ 承認欲求を満たしたい

オンラインゲームで自分の立場を優位に保ちたいという欲求や、仲間の中で認められたいという欲求から課金してしまうケースがあります。

### ④ 課金が少額だと、手軽に始めやすい

課金額が数百円など少額でも、「課金したらすぐに強くなった！」という成功体験から、課金を繰り返して、気づいたら高額なアイテムにも手を出してしまったというケースもあります。



どうして課金したくなるの？

## ⑤ ゲームサイト自体が課金したくなる仕組みを作っている

頻繁なプッシュ通知やガチャを通じた射幸心<sup>(※)</sup>の刺激により、プレイヤーが課金へと導かれる心理的要因が働くことがあります。また、「限定」「レア」など希少性のあるアイテムを設定するなどにより課金したくなくなってしまうケースがあります。

(※)「射幸心」とは  
努力や苦勞をすることなく、偶然の利益や成功を得ることを期待する心理のこと。

## ⑥ 自覚がない場合も

「有料だと気づかなかった」「本物のお金だと思わなかつた」など、自覚がないまま課金を続けてしまう危険性があります。

また、低年齢の場合には、「魔法がかかった」「誰かからのプレゼントかと思った」と思いこんでしまうこともあります。

どうして課金したくなるの？



その動画、信じて大丈夫？ 無意識のうちに課金に誘導されているかも

事例の「攻略チャンネル」のような動画は、一般人を装ってゲーム会社等が宣伝目的で配信している可能性もあるため、注意する必要があります。すべてをうのみにせず、次のように「疑いの目」をもつことが大切です。



動画の配信者は誰？

ステマ(※)ではない？

課金あり？

課金なし？

効果は本当？

(事例の場合は「最強」)

(※)「ステマ」とは

ステルスマーケティングのこと。消費者に特定の商品やサービスについて、宣伝と気づかれないように商品を宣伝したり、商品に関するクチコミを発信したりする行為。

## 保護者のカード情報が残っていることが原因で、 課金できてしまう可能性も…

未成年者の場合はクレジットカードを保有できませんが、  
「保護者のスマホを借りた」  
「保護者のクレジットカード情報が残っていた」などで、  
「試してみたら課金できてしまった」というトラブルが  
起こりえます。



課金によりカード利用限度額を超えてしまう可能性や、  
最悪の場合、**クレジットカード会社から保護者の管理責任を問われる  
リスクもある**ため注意が必要です。



保護者のカード情報が残っていることが原因で、課金できてしまう可能性も…

## ゲーム課金の主な方法

①

### プリペイドカード



コンビニなどで事前に購入し、課金する。

②

### クレジットカード



クレジットカード番号などを入力して課金する。

③

### キャリア決済



スマートフォンなど携帯電話の使用料金と合算して課金する。

保護者のカード情報が残っていることが原因で、課金できてしまう可能性も…



未成年者は「契約の取消し」ができる、はずが…

## 年齢を偽って購入すると、取り消しできないかも

「あなたは18歳以上ですか？」と表示された画面。  
未成年のショウタは、「どうせ、誰も気づかないだろう」と、  
年齢を偽って「はい」を押してしまいます。

未成年の場合、本来「未成年者取消権」により契約の  
取消しが可能ですが、**年齢を偽ってボタンを押して  
しまった場合、その後、課金(購入)の取り消しができな  
くなる可能性があります。**



保護者のカード情報が残っていることが原因で、課金できてしまう可能性も…



## 未成年者取消権



未成年者取消権とは、民法に規定されている「契約を取り消すことができる権利」のことです。未成年は契約のルール上でも、保護者などから守られる存在となっているため、未成年者がクレジット契約を結んだ場合などは基本的に契約を取り消すことができます。ただし、以下の場合は取り消すことができない可能性もあります。

例えば、保護者のクレジットカードを使った場合…

①  
積極的に成人である  
とウソをついたとき

②  
契約金額が小遣いの  
範囲内の金額で  
あったとき

③  
保護者が契約に  
同意しているとき

万が一、事業者から「返金に応じられない」と回答されたとしても、  
[消費生活センター](#)と連携を取りつつ情報を整理し、諦めずに交渉してみてください。



## 課金する前に気づくには

例えば、事例の主人公ショウタが課金する前に気づき、立ち止まるためには、以下のポイントに注意をする必要があります。

1

### ゲームのインストール画面



「アプリ内課金があります」等、課金が必要なことについて表示されている可能性があります。

2

### ゲームの攻略チャンネル画面



動画の内容は信頼できるのか、課金が必要なのか等、疑いの目をもつことで気づける可能性があります。

3

### 課金時の年齢確認画面



年齢を偽ることの問題の重大さに気づいて課金をやめる、または保護者に相談することが大切です。

ポイント

こんな人は要注意！

「もう一回だけ」「あともう少いで勝てる」という気持ちから、ズルズルと高額の課金に至ってしまうケースが多いようです。

課金するときは冷静に、そして慎重に考えてみましょう。

遊びであっても、  
負けず嫌いな人



「賭け」が好きで、  
スリルを求めがちな人



友達から誘われると  
断れない人



## ほかにある、様々な「課金トラブル」

事例のようなオンラインゲーム等の課金アイテム以外にも、次のような場面からトラブルにつながることもあるため、注意が必要です。

### ■ 投げ銭

リアルタイムで動画を配信する「生配信」やSNSの「ライブチャット」と呼ばれるサービスで、配信者に応援金を支払う課金機能。毎日無料でポイントがもらえ、応援する人の人気が出てきたらもらえるポイントもある。

#### 例

- スマホに制限がかかっていると思っていたので、貯まったポイントの中で利用しているつもりだったが、課金になっていて高額請求になった
- 高額課金の場合には配信者が名前を呼んでくれる等の付加サービスにより、課金の高額化・競い合いが発生
- ほかの支援者たちと競い合ったがほかの支援者がサクラだった 等

ほかにもある、様々な「課金トラブル」

## ■ 気づかないうちに別のサイトに誘導・料金が発生

無料アプリをダウンロードした際に別のサイトに誘導されている、などといったパターン。

### 例

- 気づかないうちに別のサイトに誘導され、後から月額利用料を請求されたうえに、さらに解約をしようとする1ドルの解約料を請求された
  - 「無料」とうたいながらも、無料はトライアル期間のみであった
  - 指定サイトに登録してポイントをもらう「ポイ活」をしていたが、途中からアダルトサイトになり、連絡先がわからなく解約できなくなった
  - 偽サイト(フィッシングサイト<sup>(※)</sup>)に誘導され、案内にしたがって個人情報などを入力したらアカウントを乗っ取られてしまった
- 等

(※)「フィッシングサイト」とは

実在のWEBサイトなどを装った偽のサイト。アカウント・IDやパスワード、クレジットカード番号などの個人情報を入力するとだまし取られ、悪用される危険性がある。